

- 1 日 時 平成23年11月18日(金)
- 2 学年・組 第3学年6組(男子 18名 女子 17名 計 35名)
- 3 場 所 第1美術室
- 4 単 元 名 「テーマパークを楽しもう」
- 5 単元について

○教材観

本単元では、テーマパークのパンフレットから必要な情報を読み取り、条件を満たしながら目的に合う計画をパスカードの利用の仕方など関係付けて考え、計画表を作る上で工夫した点を説明するという学習内容である。

本単元は、テーマパークの行動計画を立てる活動が中心となり、中学生にとっては興味・関心をもちやすい教材と考えられる。しかし、単に計画を立てるのではない。アトラクションやショーには人気度が星の数で設定されており、決められた数の星を集めてできるだけ早く回れる計画や、決められた時間の中で、できるだけ多く星を集める計画を考えさせる。その中で、楽しめるアトラクションやショーの利用回数、パスカードの利用の決まりなどさまざまな条件があり、それらを駆使しながら、自分にとって最適な計画を考えることが重要となる。パスカードの利用の決まりを資料の中からの確に読み取り、条件を満たしているかどうか考えたり、アトラクションの所要時間や移動時間の管理をするための計算をしたりするなど、多様な角度から考えなければならない。生徒の思考活動が活性化される要素がうまく盛り込まれているだけでなく、互いの計画の交流や改善点などの評価・批評がしやすい教材である。

この単元の学習を通して、日常生活で直面した課題にも評価・批評しつつ論理的に考えていく力が役立てられるであろう。

○生徒観

本学級の生徒は、4月に実施したNRT(全国学力調査)の結果、能力別では、教科によって多少の違いはあるものの、「認知・理解力」は得点率約7割と高い得点率となっている。しかし、「応用力・判断力」は得点率約5割、「説明・表現力」は得点率約4割と低くなっている。また、言語・数理運用科に関する意識調査を行ったところ、「テキストや情報から、自分にとって必要な情報を取り出すことができましたか」という質問に対して90%以上の生徒が、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答し、「自分の考えたことを、相手にわかりやすく伝えることができましたか」という質問に対しては、40%の生徒が「あてはまらない」「あまりあてはまらない」と回答した。このことから、言語・数理運用科の授業においても、資料の中などから適切な情報の取り出す力については、概ね良好であると考えられる。しかし、取り出した情報を活用し、思考・判断する力が身に付いていない生徒が多いと考えられる。表現する力においても、わかりやすく伝えることについて難しさを感じている生徒が多いと考えられる。

さらに、7月に実施した学校適応感尺度では、生活満足感、対人的適応、学習的適応のすべての領域において平均値の50を上回っており、特に対人的適応の中にある「友人サポート」の項目は高い。言語・数理運用科に関する意識調査でも、「グループ交流を通して自分の考えをより深めることができましたか」という質問に対して、96%が「あてはまる」「ややあてはまる」と答えている。このことから、友達からの支援があるとか認められているなど感じている生徒が多いと考えられ、授業においてもグループ交流や班交流などを意欲的に行うことができると考えられる。

○指導観

本単元の指導にあたっては、まず、パスカードの利用について4つの状況を設定し、それぞれの状況で利用できるかどうかをパスカードの説明文から取り出させる。取り出させる前にどのような状況なのか全体で把握させてから考えさせるようにする。

行動計画を立てるときは、どのような計画を考えるのか明確にさせるために設定した状況を板書し、意識付けさせる。また、試行錯誤できるように個人で考える時間を十分にとる。なかなか進まない生徒に対しては、机間指導の際に、どのアトラクションで星10個を集めたいか組み合わせを考えさせるように助言する。早くゲートに戻るために時間短縮した方法をグループ交流で評価・批評する際には、「評価・批評すること」とはどういうようなのかを「言語力のめあて表」を使って説明することで本時のねらいに迫っていくことを心がけたい。また自分の考えた方法をわかりやすく順序立てて発表できるように、発表す

る内容項目を明記した表を提示する。さらに、2色の付箋紙に「良い点」「改善点」に分けて評価・批評を記入させることで、自分の考えを整理することと同時に、わかりやすく伝えることができるように付箋紙を読み合いながら互いのワークシートに貼っていく工夫を加えた。グループ交流が活性化していないグループには、机間指導において評価・批評するポイントはどこなのか明確にさせるような声かけをする。特に「良い点」を中心に着目させ、肯定的な評価ができるように声かけを積極的にしていきたい。

自ら考えたベストプランについて、その内容や方法を説明する場面では、おすすめのポイントや星を多く集める方法で何を紹介したいのかを明確にさせるために、それらを箇条書きさせた後に紹介文を書かせるようにする。

6 単元の目標

アトラクションマップなどから、目的に応じて必要な情報を読み取り、条件を満たしながら目的に合う行動計画をパスカードの利用の仕方などに基づいて考え、その方法を明確にしながら表現することができる。

7 単元の評価規準

情報を取り出す力	思考・判断する力	表現する力
○パスカードの説明文から、パスカードに関する情報を読み取ることができる。	○星10個を集めてできるだけ早くゲートに戻るために時間短縮した方法を、パスカードの利用や回る順序などに基づいて評価・批評することができる。	○目的に合う計画を行動予定表にまとめ、工夫した点を明確にして説明することができる。

	学習活動	情報を取り出す力	思考・判断する力	表現する力
第1時	・パスカードの説明文から、パスカードの利用に関する情報を読み取る。また、9時にゲートを出発し、星10個を集めてできるだけ早くゲートに戻る方法を考える。	○		
第2時 本時	・前時で立てた行動計画表をもとに、どのような方法で早くゲートに戻ったのかを、移動時間やパスカードの利用回数など、項目ごとに整理して考え、交流し互いに評価・批評しあう。		○	
第3時	・9時にゲート出発、17時ゲート着などの条件を満たしながら、できるだけたくさんのアトラクションやショーを楽しむ行動計画を、パスカードの利用方法の仕方などに関係付けて考える。		○	
第4時	・自分たちが考えたベストプランについて、その内容や工夫点を説明する。			○

8 第2時

(1) 本時のねらい

星10個を集めてできるだけ早くゲートに戻るために時間短縮した方法を、パスカードの利用や回る順序などに基づいて評価・批評することができる。

(2) 本時の評価基準

評価規準	十分満足できると判断できる基準	概ね満足できると判断できる基準	努力を要する生徒への手立て
星10個を集めてできるだけ早くゲートに戻るために時間短縮した方法を、パスカードの利用や回る順序などに基づいて評価・批評することができる。	星10個を集めてできるだけ早くゲートに戻るために時間短縮した方法を、パスカードの利用や回る順序などに基づいて具体的に評価・批評することができる。	星10個を集めてできるだけ早くゲートに戻るために時間短縮した方法を、パスカードの利用や回る順序などに基づいて評価・批評することができる。	グループ交流でゲートに早く戻る方法について、互いに深めることができるように、活動が活性化するような声かけをする。

(3) 準備物 テキスト ワークシート 資料 電卓 指示棒 教材提示装置 付箋紙 パソコン

(4) 指導過程

	主な発問・指示	学習活動	教師の指導と評価
導入	<p>◆ 前時では星10個を集めてできるだけ早くゲートに戻る行動計画を考えました。</p> <p>◆ 星10個集めてできるだけ早くゲートに戻るために、どんなことを意識しましたか。</p> <p>◆ 本時は、星10個を集めてできるだけ早くゲートに戻るために時間短縮した方法考え、班で交流し、互いに評価・批評し合います。</p>	<p>(1) 前時の振り返りをする。</p> <p>○意識したことを発表する。</p> <p>□ 回る順序について意識しました。</p> <p>□ パスカードを利用しました。</p> <p>(2) 本時の課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>本時の課題 星10個を集めてできるだけ早くゲートに戻るために時間短縮した方法を、互いに評価・批評し合う。</p> </div>	<p>○前時の内容を振り返り、思い出させる。</p> <p>○生徒の作成した行動計画を拡大し黒板に掲示しておく。</p> <p>○パスカードを使った計画を立てている生徒の計画と使っていない計画を選び、比較させる。</p> <p>○掲示した計画より早い計画があるか確認し、どのような方法で早く回れるのか、考えさせたいように意識させる。</p> <p>○課題を黒板に提示する。</p> <p>○評価・批評について言語力のめあて表を意識させる。</p>
展開	<p>◆ 星10個を集めてできるだけ早くゲートに戻るためにどのような方法で時間を短縮しましたか。自分が立てた行動計画を項目ごとに整理した後に考えてみましょう。</p> <p>◆ グループで互いに作った計画を交流しましょう。発表者はゲートに到着した時間、回った順序、星10個を集めてできるだけ早くゲートに戻るために時間短縮した方法について発表しましょう。</p> <p>◆ 聞く人は、星10個を集めてできるだけ早くゲートに戻るために時間短縮した方法について自分の計画と比較しながら評価・批評してください。良い点は黄色、改善点はピンクの付箋紙に書いてください。</p>	<p>(3) 行動計画を整理し、星10個を集めてできるだけ早くゲートに戻るために時間短縮した方法を考える。</p> <p><u>予想される方法</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・パスカードを使う順序（人気度や待ち時間など）、発行するタイミング、発行してから使えるまでの時間の利用、使うことで待ち時間を短縮させることについて ・回る順序を最短にして移動時間を短縮させることについて <p>(4) グループで交流をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行動計画について、ゲートに戻った時間、回った順序、星10個集めてできるだけ早くゲートに戻るために時間短縮した方法を発表する。 □ 私が立てた行動計画は、〇〇時にゲートに帰ることができます。回った順序は、～です。早く戻るために時間短縮した方法は、④のパスカードを発行し、所要時間を短縮し、使えるまでに利用可能な②に乗り効率よく回れるようにしました。 ・付箋紙を使って評価・批評する。 □ はじめにパスカードを発行してその間に利用可能な他のアトラクション乗っているので時間短縮につながって良かった。 	<p>○パスカードの利用条件を黒板に提示し確認させる。</p> <p>○思考させる時間をしっかりとる。</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アトラクションマップ ・アトラクションインフォメーション ・パスカードについて <p>【ワークシート】</p> <p>①-I ①-II ②-I</p> <p>○方法がかけていない生徒へ「なぜこの計画にしたのか」机間指導で問うようにする。</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アトラクションマップ ・アトラクションインフォメーション ・パスカードについて <p>【ワークシート】①-I ①-II ②-I 言語力めあて表から</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>早くゲートに戻るために時間短縮した方法について評価・批評するときに根拠を明確にして書く。</p> </div> <p>○具体的に評価・批評できるよう、具体的に説明している文章を例示する。</p> <p>○発表するときに伝えることを黒板に貼る。</p>

	<p>◆グループ交流で話し合ったことをもとに気づいたことをまとめてみましょう。</p> <p>◆発表してください。</p>	<p>□ ④でパスカードを発行するのも良いが星の数のが多く、待ち時間の長い③でパスカードを発行すればより時間の短縮になるのではないかな。</p> <p>(5) 交流から気づいた点についてまとめる。</p> <p>(6) 行動計画について、ゲートに戻った時間、回った順序、星10個集めてできるだけ早くゲートに戻るために時間短縮した方法、交流しての気づきを全体発表する。</p> <p>□ 私が立てた行動計画は、〇〇時にゲートに帰ることができます。回った順序は、～です。早くゲートに戻るために時間短縮した方法は、④のパスカードを発行し、所要時間を短縮します。発行し使えるまでに利用可能な②に乗り効率よく回れるようにしました。交流から、回る順序でもう少し時間が短縮できると思いました。</p>	<p>○付箋紙には必ず名前を書かせる。</p> <p>◎星10個を集めてできるだけ早くゲートに戻る方法を、パスカードの利用や回る順序などに基づいて評価・批評することができる。(思:付箋紙)</p> <p>○努力を要する生徒への手立て グループ交流で早くゲートに戻る方法について整理し、深めることができるように、活動が活性化するような声かけをする。</p> <p>【ワークシート】</p> <p>①-Ⅱ</p> <p>○教材提示装置で行動計画を映す。</p> <p>○机間指導で最短の計画やパスカードの利用や回る順序に基づいて方法を考えられているものはあらかじめ確認しておく。</p> <p>○グループ交流と同じ伝えかたで発表させる。交流して発見した工夫点を付け加えさせる。</p>
<p>まとめ</p>	<p>◆次回は、時間内にできるだけたくさん回ることでできる行動計画を考えていきます。グループ交流や全体での発表を通してどのような方法をいかそうと思うか書いてみましょう。</p> <p>◆発表してください</p>	<p>(7) 本時を振り返り、次時の課題を知る。</p> <p>□ 私は、時間を短縮するためには、星の数が多く、待ち時間が多いアトラクションのパスカードのパスカードをとっておき、その間に次に星の数が多くアトラクションに乗るようにしたいです。</p> <p>□ 交流した中で、④でパスカードを使うのも良いが星の数の多い③で有効に活用すれば時間の短縮につながることに気づいた。</p>	<p>○次時につながりをもたせるような方法を考えさせるようにする。</p> <p>○評価・批評してもらった内容から次時にいかしたいことも書かせるようにする。</p>

(5) 板書計画

テーマパークを楽しもう！

パスカードの条件

- 同時に2カ所以上の発行はできない。
- 発行した時間から90分後から30分間が利用可能な時間である。
- 利用したいアトラクションの入口付近にパスカード発行機がある。

今日の課題 星10個を集めてできるだけ早くゲートに戻るために時間短縮した方法を、互いに評価・批評し合う。

行動計画①

行動計画②

発表すること

- ①ゲートに到着した時間
- ②回った順序
- ③星10個集めてできるだけ早くゲートに戻るために時間短縮した方法

時間短縮した方法

○

○